

第8回「学校対抗英語 SPELLING CONTEST」実施規則

I 目的：学校教育における実践的英語コミュニケーション能力、特に表現力向上の要素である単語力を学校間・個人間で、エンターテインメント性を加味しながら、磨き競うことにより、本県の英語教育・国際化事業の充実・推進に資する。

II 期日：2016年10月22日（土）午前10時30分～午後4時30分

III 会場：かでな文化センター（嘉手納町字嘉手納588番地）

IV 主催：一般社団法人 沖縄の英語教育を考える会

V 参加資格：

- 1 文部科学省が認可した、中学校の生徒
- 2 インターナショナルスクール、アメリカンスクールの生徒

VI 実施内容：学校対抗戦による競技を行う。

※学校対抗戦は大会事務局の作成する「トーナメント表」にもとづく

1 予選 (Elimination Round)

(1) チーム構成メンバー：3名

- ① チーム構成は、1年生の語彙は1年生が担当、2年生の語彙は1年生か2年生が担当、3年生の語彙は1年生、2年生、3年生のいずれでも可能とする

※上級学年生が下の学年の単語パートで出場することはできません。従ってオール3年生、オール2年生などのチーム編成はできません。

(2) 予選の形式：

- ① 5～7チームを一組（Batch）とし、チーム数によって組分けを行う。
- ② 1組から順次、ステージ上で試合が実施される。

(3) 出題形式及び回答形式

- ① カテゴリー 1「オーラル・ディクテーション」 Oral Dictation
- ② 出題単語数：10語
- ③ 回答用ブザー：使用する

(4) 進行：

- ① 出題者（Facilitator）が問題の「単語のスペル」を3回質問する。
3回質問後、回答者がいない場合次の単語に変わる。
- ② ブザーを早く押したチームが「単語」を明瞭な大きな声で、審査員に向かって答える。
- ③ 単語が不正解のチームはその単語の回答権を失う。
- ④ 正解したチームが1点を得点する。この要領で10問を終え得点を集計する。
- ⑤ 発音や単語ストレスも判定の基準に含まれる。
- ⑥ 10問終えた段階で、同じ得点を有するチームがある場合、同点チーム同士3問行い、得点を多く取得したチームを勝者とする。

2 準決勝 (Semi Final Round)

(1) 出題形式及び回答形式

- ① カテゴリー 2「オーラル・ディクテーション&スペリングビー形式」
Oral Dictation & Spelling bee

②出題単語数：9 語

(Oral Dictation 2 words each, Spelling Bee 1 word each)

③回答用ブザー：使用する。

④ホワイト・ボード：使用する。

(2)進行：

①各チームへの出題の2問は予選と同じオーラル・ディクテーション形式で行われる。

②3問目の出題のみスペリング・ビー形式で行われる。

③スペリング・ビー形式では出題者が、参加者全員に、「**Spell the word "/////”**」と同じ「**単語**」を質問し、参加者は初めに、ホワイト・ボードにその単語を書き(30秒以内)、各参加者はそのスペルを口頭で答える。その時他の者はスペルの変更はできない。

④合計で同点チームが生じた場合は、同点チーム同士、各学年1問ずつ出題のオーラル・ディクテーション形式により勝敗を決する。

⑤決勝は準決勝進出チームの中から高得点の3チームが決勝へと進む

3 決勝 (Final Round)

(1)出題形式及び回答形式

①「**スペリング・ビー形式**」 Spelling Bee

②出題単語数：9 語 (各学年3語)

③回答用ブザー：使用しない。但し、同点決勝の場合は使用する。

④ホワイト・ボード：使用する。

(2)進行：

①準決勝のスペリング・ビー形式と同じ進行で、出題者から参加者全員に同じ単語が出される。参加者は、初めホワイト・ボードのその単語を書き(30秒以内)、それぞれが、そのスペルを口頭で答える。その時他の者はスペルの変更はできない。

②合計で同点チームが生じた場合は、同点チーム同士の各学年1問ずつ出題のオーラル・ディクテーション形式により勝敗を決する。

4 単語リスト (Word lists)

①事前演習のため、出題対象となる単語リストは主催事務局のホームページからダウンロードできる。

②出題は配布された単語リストから、そのまま出題される。

③準決勝の **Oral Dictation** については、ワードリストの中から **2 words** を組み合わせ出題する。

④出題される単語の範囲：中学校—文部科学省認可の中学校英語教科書

5 係及び役割

(1)司会・進行者 (Facilitator) の役割 (人数1名：日本人)

出題者／審査員／チームを含めた競技の総合進行

(2)出題者の役割 (人数1名：日英両語使用)

①オーラルディクテーションでのスペルを正しく明瞭に発音する。

②審査員とともに、ブザーを最初に押したチームを確認する。

(3)コーディネーターの役割 (人数1名)

①審査方法の円滑な実施をモニターする。

(4) **審査員 (Judge)** の役割 (人数 : 3 名のうち 2 名はネイティブスピーカーの英語指導者)

- ① 競技開始前に大会ルールを説明する。
- ② 大会規則に基づき、参加者の回答する単語が正しく綴られているか、発音されているか審査する。(アクセント含む)
- ③ スペリングビー形式では、ホワイト・ボードのスペルが正解か、また口頭でのスペルを精査する。
- ④ 本大会の全ての選考、勝敗の決定について最終権限を有する。
- ⑤ オーラルディクテーション部分での、ブザーを最も早く押した者を確認する。

(5) **競技・会場進行担当責任者 (Facilitating Director)**

- ① 競技の円滑な進行 / 会場内の良好な環境のモニタリングを行う

(6) **機器操作係り** : ブザー等回答用機器の操作

6 参加者の守るべき事項

- (1) **オーラルディクテーション** : 必ず、最初にブザーを押したチームとして出題者の指示を確認して、単語を明瞭に発音する。

(2) **スペリングビー** :

- ① 出題者が単語を読み上げる
- ② その学年の回答者は、ホワイトボードに一齐に単語を書く (30 秒以内)
- ③ 出題者の指示で全員ホワイトボードを見せる
- ④ 各回答者は順番に
- ⑤ 単語を発音する
- ⑥ その単語のスペルを言う
- ⑦ 再度単語を発音する

(3) **フェアなプレイ精神で競技する**

(4) **大会参加者は、制服を着用すること**

7 聴衆 (Audience) に協力依頼する事項 :

※ スペリングコンテストには、会場の物音、話し声等が円滑な進行の妨げとなるので下記事項を守るように徹底する。

- ① 出題 / 回答中、絶対にそのヒントとなるようなことを言うことは固く禁止。
- ② 会場では携帯電話の電源を切ること。
- ③ 同伴の子供が静かに座っているよう、保護者は注意すること。(退場もあります)
- ④ 競技事前の応援 / 声かけのタイミングは会場進行担当責任者の指示に従う。
- ⑤ 会場内での喫煙は禁止
- ⑥ 会場内での飲食は不可

VII 募集要項 : 別紙のとおり